

サンライン、独自のプラズマ技術 コロナ対策に活用、殺菌・抗菌加工が可能



殺菌、抗菌加工した
消毒液用スプレーボトル

菌性を有する化合物を強固に固定化、飛沫などにより付着する菌やウイルスを不活性化

する。
消毒液が50ミリの入り、清潔感あるデザイン。全社員166人にアンケートを実施、外で使用の際、抵抗感のないデザインを採用した。

同社はアウトドアレジャーの現場や外出先で、手指消毒の機会が増えたことに着目。

消毒用スプレーボトルを携帯すれば、素早く消毒ができると、糸をはじめ、あらゆる素材、形状の物体に最適化したプラズマを作り出す技術を活用、昨春、立体的で複雑な形状のスプレーボトルの表面に、均一で高密度なプラズマを照射する技術を開発した。

完成したスプレーボトルを8月、全社員に配布。10月には400個を追加製造、コロナ対策と技術のPRに取引先や釣り愛好者らに配布した。

スプレーボトルは要望により製造などを検討。同社は「プラズマの殺菌や抗菌加工技術が医療、福祉、環境、食品、農林水産分野での応用、協業につながれば」としている。

釣り糸のトップメーカー、(株)サンライン(岩国市玖珂町1600-21、中野郁夫社長)は、独自の技術「プラズマライズ(大気圧低温プラズマ技術)」を活用して、殺菌、抗菌加工した消毒液用スプレーボトルを社員や釣り人などに配布した。ニューノーマル(新しい生活様式)への対応に取り組んでいる。

プラズマが照射された消毒液用アルミニウム製スプレーボトル(縦12センチ、横3.5センチ)の表面は、付着する細菌が速やかに殺菌、分解。さらに抗